

もくじ

2023年 8月

8月・9月 予定表	1
7月例会出席者・6月山行実績&コメント	2～5
役割分担（事務局・山行部・会報部）	6～8
山行案内（8月・9月・10月）	9～12
山行報告	
・ 基本登山技術講習会「中級編」丹沢へ（岡田）	13
・ 守門岳（畑中）	14
・ 雲取山（嶋本）	15
・ 霧降高原・キスゲ平園地と小丸山（小林）	16
・ 蔵王古道（鈴木か・桐生）	17～18
短歌 霧降高原を振り返り（羽鳥）	19
思い出の山「於茂登岳」（桐生）	20
ちょっと一言（安彦）	21

表紙写真紹介

大菩薩峠の『介山荘』です。
何回宿泊したのか数えていないが、若い時からずーっと通っている。親戚の家みたいな感じです。この写真は2022年10月末に会山行で行った時で、一番最近です。いつも、お酒をたっぷり飲んでいい気分になる山小屋です。

～～松本 政斎～～

会報部からのお願い <表紙写真>

9月号は鈴木隆司さん、10月号は加藤延子さんです。

その際、100字程度の紹介文を添えて、前月20日までに、会報部（桐生）へ提出してくださるようお願いいたします。

8月・9月 予定表

日	曜日	8月	日	曜日	9月
1	火		1	金	飯盛山
2	水	山行部会 (18:00~20:00)	2	土	
3	木		3	日	例会 (14:00~16:00) 学1
4	金		4	月	
5	土		5	火	
6	日	鎌ヶ谷市民の森講習会 (中止)	6	水	山行部会 (18:00~20:00)
7	月		7	木	
8	火		8	金	
9	水		9	土	荒船山
10	木		10	日	
11	金	山の日	11	月	
12	土		12	火	
13	日	例会 (中止)	13	水	
14	月		14	木	
15	火		15	金	
16	水	運営委員会 (中止)	16	土	
17	木		17	日	
18	金		18	月	敬老の日
19	土		19	火	
20	日		20	水	運営委員会
21	月		21	木	
22	火		22	金	
23	水		23	土	秋分の日
24	木		24	日	高麗峠~天覧山
25	金		25	月	編集会議 (10:00~12:00)
26	土	} 八島が原湿原・霧ヶ峰	26	火	
27	日		27	水	
28	月	編集会議 (10:00~12:00)	28	木	
29	火		29	金	
30	水		30	土	
31	木				

※ 10月山行予定

★ 10/3 (火) 景信山

★ 10/9 (月) ~10/10 (火) 守門岳

★ 県連 ※エベレスト街道トレッキング (10/25~11/4)

※カラタパールとゴーキョピーク登頂 (10/25~11/12)

7月例会出席者 2023/7/9 33名

手塚、安彦、松本、加藤、岡部、桐生、村上、八巻、伏見、山岡、村田、間瀬、鈴木か、五十嵐朝、四元、江崎、三橋、石塚、猪狩、羽鳥、井上勝、山脇、赤塚、菅谷、山口洋、蓮見、菅原、清水、畑中、金子、笹、岡田、富永

2023年6月山行実績 & コメント

No	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
1	小町山(こまちやま)・宝篋山(ほうきょうさん)	ハ	6/1	個	1	安彦
<p>・朝日峠展望公園でパラグライダーの飛び立つところを眺めていましたが、飛び立ちません。「なぜかな…」と思い尋ねたところ、ビギナー2人が風を待ちながら何度も飛び立つ練習をしていただけでした。小町山を經由して宝篋山へ。遠くの山々は全く見えず、霞ヶ浦と筑波山を眺めながら昼食を摂り、『弁慶平』を下り東城寺へ。休憩していたら男性3人組が来て談笑。その後、一緒に小町の館まで歩きました。(安彦)</p>						
2	県連教遭委員会 登山講習会 籠岩山(かごいわやま)	他	6/4	県	2	畑中、岡田
本誌 7月号 山行報告 参照 (岡田)						
3	霧降(きりふり)高原と キスゲ平園地、下見	ウ	6/6	個	6	五十嵐朝、五十嵐幸、小林、伏見、桐生、菊池
<p>・爽やかな高原の風の中、緩やかな勾配の遊歩道をジグザグに歩きました。キスゲの花は、蕾も固く、本番には咲きほこっているのでは？と期待します。サラサドウダン、ベニサラサドウダンが大木で花は満開でした。途中から600段の階段をクリアすると、展望台と小丸山はすぐ近くです。赤薙山、丸山が目の前、展望がすばらしいです。本番では行きませんが、丸山には、シロヤシオが満開でした。(五十嵐朝)</p>						
4	筑波山	ハ	6/6	個	1	安彦
<p>・神郡(かngoおり)駐車場から『つくば道(日本の道100選)』を登り筑波山神社へ。ケーブルカー沿いの道を「御幸ヶ原はまだか、まだか…？」と思いながら歩き、やっとの思いで着きました。小休止後、男体山へ。遠くの山々はやっぱり見えず。御幸ヶ原に戻り昼食。女体山にも寄ったが、やっぱり周りがぼんやりとしか見えず。弁慶茶屋を通り、筑波山神社に戻り一息。更に下り、神郡駐車場に戻ってきました。この日の駐車場利用者は私一人だけのようでした。(安彦)</p>						
5	県連ウィークデー山行 ; JR浪花～JR御宿を歩く(首都圏自然歩道/千葉県No. 17)下見	ウ	6/7	県	1	羽鳥
<p>・「ちばニュース7月号」に下見の記事と写真が掲載されております。お目通しください。外房が引き潮にあたり小浦海岸は広々として快適でした。本番は中止になりましたので再度、企画する予定です。(羽鳥)</p>						

No	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
6	筑波山(つくばさん) 薬王院コース	ハ	6/10	個	4	安田、江崎、嶋本、菅谷
<p>・ 参考タイム 馬込沢(6:36)—つくば(7:39-7:50)—バス—筑波山口(8:50-9:00)—タクシー—薬王院(9:10-9:20)…御幸ヶ原(11:15-12:20)…女体山(12:30)…白雲橋コース…つつじヶ丘分岐(13:20-13:30)…筑波山神社(14:30-14:50)—つくば—馬込沢</p> <p>梅雨の中休みに体を動かすに出かける。梅雨入りの山はヒトにはジメジメしたところだが、樹木や獣などの生き物は生き生きと動きまわっているような気がした。汗をだくだくかきながら登ると生きものに近づくようだが、気分爽快ではない。土曜日とあって、たくさんの若者が新品の装備で歩いている。山岳会には来ないなあと言わないことを思いながら歩いているうちに、高齢者にも少しずつ自然の力が付与されてきたような気がした。このあたりが、山登りの醍醐味であろうか。こんにちはの挨拶をいっぱい交わし、疲れたところで下山である。汗まみれの身を温泉でさっぱりしようと思ったが、いっぱいなので諦めて帰る。残念。(菅谷)</p>						
7	丹沢/登山技術講習会 「中級編」	他	6/10 ~11	個	1	岡田
<p>・ 8:30に丹沢の民宿に集合。1泊2日の講習会でしたが、民宿から1歩も出ることなく、2日間室内での講義と演習でした。当日の天気は梅雨前線が活発化して線状降水帯が発生し、各地で大雨特別警報が発令されされた中での講習会でした。室内講習だったので雨の影響を受けることなく良かったです。講義では搬送法を数種類実践したりしました。まさかの室内で汗だくになるという講習会でした。(岡田) ・ 本誌 山行報告 参照 (岡田)</p>						
8	茂来山(もらいさん)・ 御座山(おぐらやま)	ハ	6/16 ~17	個	4	安田、江崎、嶋本、菅谷
<p>・ 参考タイム『茂来山』 東京(6:28)—JR—佐久平(7:41-8:00)—レンタカー—車駐車置場(9:00-9:35)…霧久保沢登山口(9:55)…こぶ太郎(10:45)…茂来山(12:15-13:00)…こぶ太郎(13:45)…駐車場(14:35)…登山口(14:45)…駐車場(14:55-15:00)—レンタカー—宿</p> <p>梅雨の晴れ間を狙って出かける。両峰とも交通の便が悪いので、レンタカーを利用。ビジネスでの利用が多いのか車はいっぱい。前日までの雨で道が悪いので、途中の橋から歩く。地元の小学生が「こぶ太郎」というトチの巨木を見学する山歩きの日に出会った。彼らの小型バスは駐車場まで上っていた。小学生からの「頑張ってください」という声援を受け、ハアハアのぼる。現天皇も登ったらしい。小さいながら山深く、他には誰もいない山であった。</p> <p>・ 参考タイム『御座山』宿(7:15)—レンタカー—駐車場登山口(8:00-8:20)…不動の滝(9:15)…金山沢コル(10:15)…御座山(11:00-12:00)…金山沢コル(12:20)…不動の滝(13:20)…駐車場登山口(14:10-14:30)—レンタカー—佐久平—JR—東京</p> <p>前日と打って変わって、登山者が多かった。好天に焦げてしまいそうだが、2千メートルを超える高さのため、涼しい。山頂の岩場は真っ直ぐに切れ落ちているが、眺めは素晴らしい。途中クサリ場が続く。晴れ残った石楠花とイワカガミに目を癒される。(菅谷)</p> <p>・ 本誌 7月号 山行報告参照(江崎)</p>						

No	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
9	筑波山	ハ	6/17	個	5	五十嵐朝、伏見、小林、岡部、菊池
<p>・ 6/17(土)久しぶりに晴れの天気と土曜日が重なって、バス停は長蛇の列、8:00のバスに乗れず、増便も無く8:30に乗りました。御幸ヶ原コースで歩きましたが、大勢のハイカーのお陰で、譲る事が多くて、適度な休憩となりました。御幸ヶ原はお昼をする場所が無いような有様でした。女体山からつつじが丘を下りましたが、登る人でなかなか下れず、譲り合いの精神での山登りでした。何十回と登っている山ですが、出だしのバスから、こんな事、初めてです。(五十嵐)</p>						
10	小仏城山～高尾山	ハ	6/17	個	1	猪狩 他1名
<p>・ コースタイム6:00 16km 登り1036m 下り1069m 高尾山口駅7:30発のバスで梅木平下車。8:00スタート。西山峠・大洞山を経て小仏城山に13:10着。頂上は人人でごったがいの混みようにびっくり。これも皆コロナ明けの現象か。予定は高尾山経由であったが、何とその人混みが高尾山に向かっている事から、急遽コースを変更し、相模湖に下山した。相模湖公園は、風景は良かったがアップダウン厳しかった。(猪狩)</p>						
11	玉原高原 鹿又山(かのまたやま)・ 尼ヶ禿山(あまがはげやま)	ハ	6/17 ～18	個	7	羽鳥、鈴木か、桐生、清水、四元、富永、柳
<p>本誌 7月号 山行報告参照 (清水、富永)</p>						
12	高麗峠(こまとうげ)～ 天覧山(てんらんざん)下見	ウ	6/18	個	2	山岡、山口
<p>・ 巾着田から天覧山につながる奥武蔵自然歩道は、のんびりと森の中を歩いて気に入った。解散場所となる天覧山下は、茶店(レストラン)あり、バス停ありでとても嬉しい。(山口)</p>						
13	湯の丸山(ゆのまるやま)	ハ	6/19	個	4	山口、石塚、前田延、岡登 他1名
<p>・ 烏帽子岳は小さな花々の咲く登山道で、頂上も360度の展望が楽しめた。今年はレンゲツツジも当たり年で、湯の丸山は今まで見たことのない花花花だった。(山口)</p>						
14	赤薙山(あかなぎやま)	ハ	6/20	個	3	五十嵐朝、岡部、菊池
<p>・ いきなり1445段の階段はこたえました！カラマツソウ咲く草原はキスゲが2～3分咲き、赤薙山の取付きからは登山道がやたらあちこちに出てしまっていた。赤薙山からアップダウンが続き、木の根元は大きくえぐられ、段差も大きく根っこを頼りに歩きます。イワカガミのピンクと白の群生に癒されながら、奥社跡手前でタイムリミット昼食を取って引き返しました。訓練山行でしたので、十分訓練になりました。(五十嵐朝)</p>						

No	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
15	小町山(こまちやま)・宝篋山(ほうきょうさん)	ハ	6/20	個	1	安彦
<p>・ 小町の館から朝日峠展望公園へ。パラグライダーの飛び立つところは今回も見れませんでした。小町山を通り、宝篋山へ。この日も展望はダメでした。昼食後、『天狗の庭』を下り、仲良し小道を歩き展望岩へ。誰とも会わない静かな道でした。尾根コースを通過して小町の館に戻りました。いつかパラグライダーで鳥の気持ちを味わいたいのですが…。勿論、夢ですよ。(安彦)</p>						
16	守門岳(すもんだけ)	ハ	6/24 ～25	個	3	畑中、金子、蓮見
<p>・ 民宿休み場の送迎にて保久礼登山口を出発。前々日にかなりの雨が降ったそうで覚悟はしていたが思った以上にドロドロ。初めから中々の急登だったが突然ヒメサユリが一輪お出迎え。その後はお花のラッシュ。たくさんのヒメサユリ、日光キスゲ、イワカガミ、ヨウラクツツジ(?), ゴゼンタチバナ…シラネアオイも！本当に癒された。守門岳からは大白川登山口を目指す。道は乾いていたものの、たくさんのロープに助けられた。このルートは花も人も少なかったが、雪渓を歩く事が出来て楽しかった。暑かった！(金子)</p>						
17	陣馬山(じんばさん)～景信山(かげのぶやま)	ハ	6/27	個	1	菅谷
<p>・ 参考タイム 馬込沢(5:34)―船橋(5:41-5:56)―JR―藤野(7:52-8:10)―バス―和田(8:25)…陣馬山(9:45-9:55)…明王峠(10:25) …堂所山(10:45)…景信山(11:25-11:55)…小仏バス停バス―(12:45-13:40)―高尾(14:10)―船橋―馬込沢 梅雨の晴れ間を狙って出かけるが、小雨→霧→曇→晴→曇→晴と小刻みな天気変化。温度はそれほどでもないが湿度がすごい。大汗をかいて歩いているうちに、気力が失せ、陣馬山～堂所山～北高尾山稜～八王子城跡というコースをやめ、堂所山～景信山～小仏バス停からの下山にする。脇から見れば、沼から上がったカバのように見えることだろう。夏の山歩きはせめて1000メートル以上のところを歩きたい。(菅谷)</p>						

6月の会山行「青梅丘陵」「太平山」、「岩菅山」は雨天のために中止しました。

古…古道 ハ…ハイキング ウ…ウオーキング 沢…沢登り 縦…縦走 岩…岩登り
雪…雪山・スキー

2023 年度事務局役割分担

「メンバー」

四元 清水 笹 村上 井上勝 金子 三橋 石塚
岡田 岡登 伊藤 畠山 野澤 佐藤 富永

「主な業務」

1. ホームページ運営 ○ 清水 四元
2. 例会の運営・司会 ○ 四元 笹 岡田
3. 運営委員会 ○ 四元 清水 笹
4. 総会 ○ 四元 清水 笹
5. 例会場所の確保 ○ 金子 村上
6. 会員拡大 市広報掲載
(鎌ヶ谷市 松戸市 白井市) ○ 笹
(公民館掲示等) ○ 四元
7. 入会・退会・労山手続 ○ 四元 笹
8. 入会説明会 ○ 四元 清水 笹
9. 労山特別基金手続 ○ (主) 金子 (副) 岡登
スポーツ安全保険 ○ (主) 井上勝 (副) 岡田
10. 公民館まつり ○ 四元 笹 全員
11. 新入会員フォローアップ ○ 清水
(例会参加の声掛け、会山行の参加の声掛け)
12. ロッカー管理 ○ 四元
13. 全国労山との窓口 ○ 四元
14. 駐車場使用許可申請書 ○ 笹
15. 備品管理 ○ 四元

山行部の仕事（確定版）

2023.6.24

1、山行部連絡調整

- ① 山行部の役割
(会全体の方向性と山行部の役割) ○ 菅谷、江崎
- ② 山行部の仕事の分担
(仕事の内容の検討、役割分担) ○ 菅谷
- ③ 各部への連絡調整
(他部への連絡、委員会への出席) ○ 菅谷、江崎

2、山行管理

- A ①年間山行計画の立案
(会山行を中心とした山行の計画) ○ 五十嵐朝、手塚、江崎、安田、間瀬、山口、蓮見
- ②講習、訓練山行の立案
(講習会、実施訓練の計画) ○ 赤塚、嶋本、猪狩、菊池、小林和、畑中、手塚
- B ①会山行の具体化及び実施
(会山行、山行部会での司会と意見調整) ○ 江崎、菅谷
- ②会山行と個人山行との意見調整
(個人山行計画との問題点の指摘と補足など) ○ 菅谷
- C ①会山行・個人山行の把握
(山行計画書・下山報告の受理。参加者の確認と記録) ○ 菅谷、江崎
- ②山行記録 ○ 菅谷、蓮見
(会員の山行のジャンル別整理と記録〈上記①を補足するかたちで〉)

3、教育、研究、遭難対策

- A ①新人受入（講習、新入会員の受け入れ） ○ 山口、手塚、赤塚、菊池、
- B ②研究（山行の研究、用具） ○ 江崎、蓮見、小林和、入江、
- C ③遭難対策（事故防止、対策） ○ 畑中、安田、五十嵐朝、五十嵐幸

4、庶務

- ①山行部会の会場確保 ○ 江崎、村田
- ②例会での司会 ○ 猪狩、嶋本、間瀬、村田
(8月、11月、2月、5月) (8月、11月、2月、5月)

5、装備の把握・管理

- 菅谷、五十嵐幸
(装備の購入、廃棄などの管理)

○は主になってやっていただく方です。

2023 年度会報部役割分担表

部長：桐生 副部長：鈴木か

部員：梅田 山岡 加藤 八巻 前田え 井上順 山脇 前田せ 前田悟 清水 柳

★会報「やまびこ」

- 表紙/お知らせ/編集：桐生
- もくじ：鈴木か
- 予定表：八巻
- 例会・出席者：前田え 山脇
- 山行実績&コメントまとめ：井上順
- 山行案内：山岡
- 山行報告・感想文：鈴木か 山岡
- 思い出の山：加藤
- ちょっと一言：柳
- 編集後記 編集担当：山脇

7月	8月	9月	10月	11月	12月
八巻 前田え	加藤 清水	鈴木か 前田悟	柳 山脇	山岡 桐生	井上順 梅田

1月	2月	3月	4月	5月	6月
八巻 加藤	清水 前田え	鈴木か 柳	山脇 桐生	前田悟 井上順	梅田 山岡

★ 例会司会：

9月 鈴木か 12月 加藤 3月 山脇 6月 鈴木か

★ 「やまびこ」電子化 (PDF)：鈴木か 清水

★ DROP-BOX 管理：清水

★ ホームページ関連：清水

※原稿はDROP-BOXを活用してできるだけ多くの部員で編集会議までに校正・編集を済ませるようにしましょう。

※都合の悪い時は連絡しあって、交代するなど助け合いを！

※毎月電子版「やまびこ」発行を続けましょう。

※持続可能な範囲で無理せずに、楽しみながら内容を充実させましょう。

山行案内

8月の山行予定

*2023 市民の森 デイキャンプ登山講習 (全会員対象)

場 所：鎌ヶ谷市民の森キャンプ場 鎌ヶ谷市中沢767-1

日 程：8月5日(土)～6日(日)

担 当：(CL) 赤塚、(SL) 菅谷

※参加者がいない為中止となりました。

やしまがはらしつげん きりがみね くるまやま

*八島ヶ原湿原～霧ヶ峰(車山1,925m)標高差313m(体☆危★)

日 程 8月26日(土)～27日(日)一泊二日

担 当：(CL) 羽鳥、(SL) 嶋本・四元・岡登

9月の山行予定

*飯盛山(1645m) ゆるい山(体☆)

山頂から360度の展望です。秋の花々を楽しめます。

日 程：9月1日(金) 雨天中止

集 合：船橋 解散：野辺山駅

交 通

往 路：船橋6:53(あずさ3号松本行)→9:36小淵沢10:07—清里駅10:32着
(タクシー10分)→平沢登山口

復 路：野辺山17:02—17:33小淵沢18:08(あずさ50号千葉行)→船橋20:39着

山の特徴(危険)：危険もなくゆるい山コースです。

コース：平沢登山口…(1:00)…東屋…(1:00)…山頂…(0:45)…平沢峠…(1:00)
…野辺山駅

歩 程：標高差500m コースタイム 5時間(休憩を含む)

交通費概算：10,000円位

担 当：(CL) 伏見、(SL) 五十嵐・梅田・伊藤

*荒 船 山 (☆☆)

日 程：9月9日(土) 雨天中止

出発・集合 鎌ヶ谷市役所 5時30分 鎌ヶ谷観光バス

鎌ヶ谷市役所 5:30⇒高坂 SA⇒9:00 荒船山・内山登山口⇒14:00 出発
⇒高坂 SA⇒鎌ヶ谷市役所 18:00 着

コース

登山口…1:00 鉾岩修験道場跡…40 トモ岩…40 経塚山分岐…0:10…経塚山…0:10…

経塚山分岐…40 トモ岩…1:10 登山口

上り 2:30 下り 2:10 4時間30分

標高差：342.5m (登山口にトイレあり・コースにあるトイレは使用できない)

※ハイキング時間が5時間のため、ゆっくり歩きたい人は経塚山には行かないで、1356m
地点までとする。

鎌ヶ谷観光マイクロバス (22名)

費用：124,860円÷参加人数 (参考15名参加8324円)

担当：CL桐生 SL手塚、菊池、山脇

* 高麗峠～天覧山(197m)ウォーキング (体 ☆)

彼岸花の咲く巾着田から、関東平野を見下ろす天覧山へと歩く。

日 程：9月24日(日) 雨天中止

集 合：高麗駅 8:45

解 散：能仁寺辺で 15:00 頃

往 路：①新鎌ヶ谷 6:06—6:18 八柱・・・新八柱 6:34—7:26 新秋津・・・秋津 7:
45—8:16 飯能 8:25—8:33 高麗

②船橋 6:30—7:02 御茶ノ水 7:11—7:22 池袋 7:35—8:24 飯能 8:25
8:33 高麗

③新鎌ヶ谷 6:06—6:25 松戸 6:33—6:49 日暮里 6:55—7:08 池袋—7:20
—8:16 飯能 8:25—8:33 高麗

※往路を①②③のどのルートで行くのか、山行計画書が届いたらお知らせください。

復 路：往路を戻る。(電車はたくさん出ている)

コース 高麗駅…巾着田…高麗峠…ほほえみの丘(昼食)…天覧山…能仁寺

※バスで飯能駅まで行く。

天覧山下・バスの時間：

13:28・59	14:45	15:14・45	16:15・46
----------	-------	----------	----------

歩行時間約 4時間

概算費用：交通費 約3000円 巾着田 入園料 500円

※山の特徴：彼岸花は9月中旬～下旬に咲くが気候によって変わることもある。

その他：昼食1食 虫よけスプレーがあると良い。

担 当：(CL) 山口洋、(SL) 山岡・猪狩

10月の山行予定

*景信山 (727m) (体 ☆)

景信山から小仏峠を廻る秋の低山歩きです。低山ですが体調を整えた上で参加をお願いします。

日程 10月3日(火) 日帰り (雨天中止)

【集合】JR 高尾駅北口 8:00 【解散】JR 高尾駅北口

往路：鎌ヶ谷 5:52—6:02 船橋 6:12—6:49 御茶ノ水 6:51—7:57 高尾
高尾駅北口(京王小仏行) 8:12—8:25 大下バス停

コース：出発 8:30・・・小下沢林道コース・・・広場道標(登山口)・・・小下沢コース・・・
11:00 景信山 11:30・・・12:15 小仏峠 12:20—13:30 小仏バス停 13:40 (14:10/14:
40) 一高尾駅

歩行時間：約5時間(休憩含む)

交通費：電車&バス(260円×2) 約3,500円

担当 安田、松本、羽鳥、富永

*雨天中止の場合9/30にメールでお知らせします。

*守門岳 きつい山 (体☆☆ 危技★)

大きな山容の通り、登るのに時間がかかる。紅葉真っ盛りの季節である。

日時 10月9日(月)～10日(火) 雨天中止(10/6にメールで連絡)

交通 集合 11:40 (越後湯沢駅新幹線改札)

往路：東京 10:16—とき 315—越後湯沢 11:31—12:14—小出 12:56—13:12—
大白川 13:56—宿

復路：登山口(下山) 15:30 送迎車—宿 16:00 大白川 I 7:04—小出 17:47—
18:31—浦佐 18:40—18:53—東京 20:12 (解散 小出)

コース 宿(6:30)—送迎車—保久礼登山口(7:00)・・・保久礼小屋(7:10)・・・キビタキ避
難小屋・・・大岳(9:30)・・・青雲岳(10:30-11:10)・・・袴岳(12:00)・・・小烏帽子(三ノ
芝(12:50)・・・エデン(13:50)・・・大白川(大原)登山口(下山)(14:50)—送迎車
—宿

【歩程】標高差・登り(790m、4.5時間)、下り(900m、3時間)

危険 全体に滑りやすいが、小烏帽子(三ノ芝)エデンは急なので雨の後は注意が
必要。

アドバイス 活動時間が長いので、防寒に注意。

条件によっては、袴岳から保久礼小屋に戻る。

概算費用 交通費概算 JR 16270円(ジパング 11389円)

宿泊費 民宿「才七」 8000円 (キャンセル3日前から発生)
(送迎 10000円 9名迄、人数で割る)

その他 昼食： 1(2日目) 入浴 時間があれば宿で

担当 (CL) 菅谷 (SL) 鈴木か、嶋本

県連関係予定行事

① ワンコイン講習会

スロージョギング講習会を「船橋中央公民館」での実施を検討。
石田先生と協議中 10月～11月末頃

② 11月23日（木）勤労感謝の日に親睦を目的とした合同ハイキングを予定。
詳細は今後

③ 関東部ブロック役員交流会を9月2日に開催予定。
テーマ：会員拡大、組織強化について



基本登山技術講習会「中級編」丹沢へ

日程：6月10日（土）～11日（日）

メンバー：岡田（記）

4月の「入門編」、5月の「初級編」に引き続き、今回は中級編へ行ってきました。中級編では何をやるのか楽しみでしたが、スケジュールを見ると2日間ともまさかの民宿室内での講習でした。日程間近になると天気予報はなんと大雨でしたが、室内講習という事でホッとして当日を迎えました。

2日間丸々室内で山のリスクマネジメント、セルフレスキュー、危急時の対応、救助要請、搬送法を学びました。

持ち物にはツェルトがありました。演習では「日没間近、ツェルトなし、ツェルト以外の今自分が持っているものだけでビバークせよ」というお題が出されました。おっとー、そう来ました！普段いかに何も考えずに緊迫感も持たずに山に行っていたかということに気づきました。

搬送法では負傷者の搬送方法を数種類実践しました。室内講習でしたがまさかの汗だくになりました。

6月10日の1日目は梅雨前線が活発化し線状降水帯が発生、大雨特別警報が各地で出る中での講習でしたが、今回は室内講習だったので雨にあたることなく民宿から1歩も出ることなく無事に講習が終わりました。

次回は12月に一番習いたかった「山の救急措置」になります。

山岳事故は50才以上多発しているの、自立した登山者を目指して学んでいきたいと思います。



憧れのヒメサユリ(守門岳)

日 程：6月24日(土)～25日(日)

参加者：蓮見、金子、畑中(記)

何年か前に山岳雑誌に掲載されていた飯豊連峰とヒメサユリの写真にうっとり、厳しそうな山に本当にこんな可愛い花が咲いてるのかしら？
しかし厳しい行程の山のようにチャンスはあるのかな～。

2～3年が過ぎたスキーシーズン、「平野歩夢選手が練習に明け暮れた南郷スキー場に行こう！」と会津田島からホテルお迎えのバスで1時間、山奥、遠く近くの雪山の素晴らしさ、地域の案内を見たら夏にはヒメサユリの咲く高清水公園の写真が！

友だちに「今度軽いハイキングしながらいいね！」

その後、世の中はコロナに突入！！

ヒメサユリ鑑賞はお蔵入り。(泣)

今年の春の毎日旅行の案内に守門岳と浅草岳1泊の企画があり、蓮見さんに相談すると会山行で何年か前に実施したとのこと。

参加した方に計画書を借りて「守門岳だけなら行けそう」となりワクワク、行程が少し長いのと、熊情報でドキドキ。

運良く当日はトレイルランの大会で熊に対しては少し安心、会からお借りした熊スプレーは宿預かり。初めに会ったヒメサユリは見過ごして他の登山者に教えてもらった。感激！！



足場も悪くて難儀したけれど、ヒメサユリやニッコウキスゲに癒されて無事に下山。宿は温泉ではないが浴衣つきで8500円、東京で修業した若夫婦、山菜も美味しい。

「秋はキノコを食べに来て」と。若旦那は九州出身で雪国暮らしは初めて、村の大原スキー場でやっと覚えたスノボ、楽しめるようになったら閉鎖だって。気の毒きわまりない。

下山口までお迎えに来てもらいスキー場の横を通る。

運営者がいたらすぐにでも出来そうなのにスキー大好きおばさんは泣けてくるわ。

雲取山

日 程 7/1～7/2

参加者 安田 清水 桐生 江崎 嶋本(記)

7/1 (土) 曇り

奥多摩駅からバスに乗りお祭りで下車、後山川沿いに歩きはじめる。道幅は広いが山の斜面は頑丈な金網で囲まれて、落石、落木がたまっていた。後山林道を三時間ほど歩き登山口に取り付き、そこから30分程で三条の湯に到着。少しの雨は覚悟していたが、降られることなくラッキーだった。

念願の山小屋、三条の湯は、少し硫黄の匂いがするいい温泉、部屋はベランダ付きの大部屋に他の三人の家族連れと一緒にだったが、ゆったり、涼しく快適だった。山オダマキが小屋の周りにひっそりと咲いていた。

7/2(日) 晴れ

夜中に雨が降り朝はスッキリと晴れていた。

6:10に小屋を出発、案内板に頂上まで3時間半と書かれていた。

今日は山の斜面をジグザクに繰り返して約900mの標高差を登る。危ない所はないのだが、登山道が狭く谷が深く、時々吸い込まれそうな感覚に陥った。

三条ダルミに着いたときはホッとした。ここから頂上まで一気に急坂を登り、雲取山山頂に到着。

この日は梅雨の晴れ間で人出も多かったが、南アルプス、富士山を眺めながら登りの苦しさを忘れ、満足感に浸り一休みして、山梨と東京の頂上二か所で写真を撮り下山開始。

なだらかな稜線歩きだったが、暑い一日で七ツ石小屋を巻くルートをとった。堂所、小袖乗越と長い下りだったが、やっと鴨沢のバス停に3:30に到着。



岩菅山会山行が中止になり担当者の方たちが、急きょ計画してくださった山行です。ご配慮くださりありがとうございました。

霧降高原・キスゲ平園地と小丸山

7月2日（日）

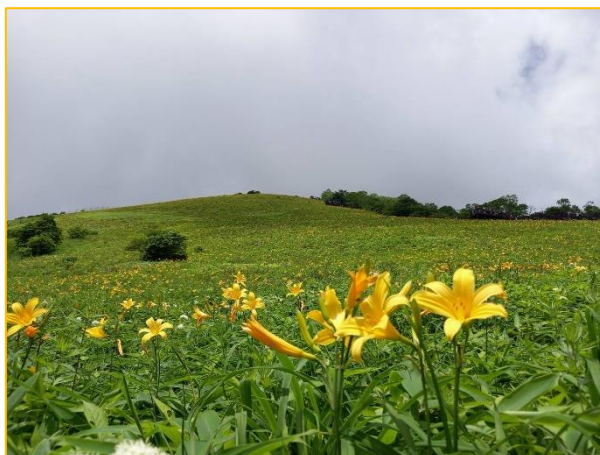
参加者：五十嵐朝、五十嵐幸、手塚、岡部、村田、間瀬、前田え、山脇、菊池、羽鳥、笹、野沢、小林

Q：バスは混みましたか？

A：増便が出るほど人が多かったです。駐車場も満車のようでした。

Q：お目当てのキスゲは咲いていましたか？

A：ほぼ満開でした。今季一番の見ごろだったと思います。高原の風が涼しくて最高に気持ちよく歩きました。



Q：1445 段の階段がきつくなかったですか？

A：最初は階段を上らずに、遊歩道をつづら折りに行って、最後に645 段の階段を途中展望デッキ3か所で休憩しながら上りましたが、息切れしました。

Q：小丸山では？

A：あいにく、丸山、赤薙山などにガスが流れてきてスッキリした展望ではありませんでした。多くのハイカーは赤薙山を目指して登って行きましたね。私達今回は『ウォーキングの計画』でしたので、のんびりランチをしながら「キスゲが終わったらシモツケのお花畑になるね」と…。おしゃべりタイム。



Q：帰りのバスは？

A：予定のバスに（13：37）乗れました。
増便が2便でした。会山行が皆さんのおかげで無事に終わりました。
ありがとうございました。

※小林和子さんにインタビューで、楽しかった会山行のお話を聞きました。

（聞き手：桐生）

蔵王古道

日程：7月17日(月)～18日(火)

参加者：桐生、江崎、羽鳥、清水、嶋本、鈴木か(記)

BSで放映された「蔵王古道」を観て行きたいと思いました。エコーライン完成後使われなくなった「蔵王古道」が有志により整備され復活したのです。

一日目(7/17)

昨日までは雨だったそうですが、参加者の日頃の心がけが良かったのか、お天気が味方してくれてピーカン。山形駅よりタクシーで蔵王大権現石碑まで行き、5合目の三五郎小屋(1264m)まで標高差895mを登ります。

10:43 スタート

2合目の垢離場(ごりば)までは山道と林道を出たり入ったりしながら緩やかに登って行く。途中、危険な渡渉あり。クマ缶が3ヶ所あり叩きながら歩く。垢離場でランチタイム。🏠



垢離場の丸木橋を渡ると急な登りが始まり、3合目の唄の沢を過ぎ、下草をかき分け進んで行くと突然「不動滝」が現れた！

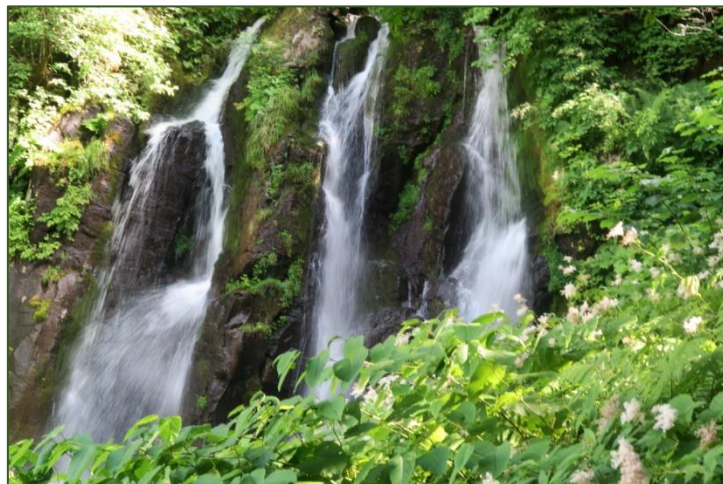
すごい迫力、マイナスイオンとミストを浴びてしばし小休止。来た甲斐があったと疲れも吹っ飛ぶ。

4合目にある「不動滝」から

5合目の三五郎小屋までは1200m、ここからは下草も刈ってあり、緩やかで歩きやすい道である。

15:49 三五郎小屋着。

三角屋根の三五郎小屋は外国の山小屋を思わせるおしゃれな造り、室内も山小屋というより高原の高級ホテルという感じでした。

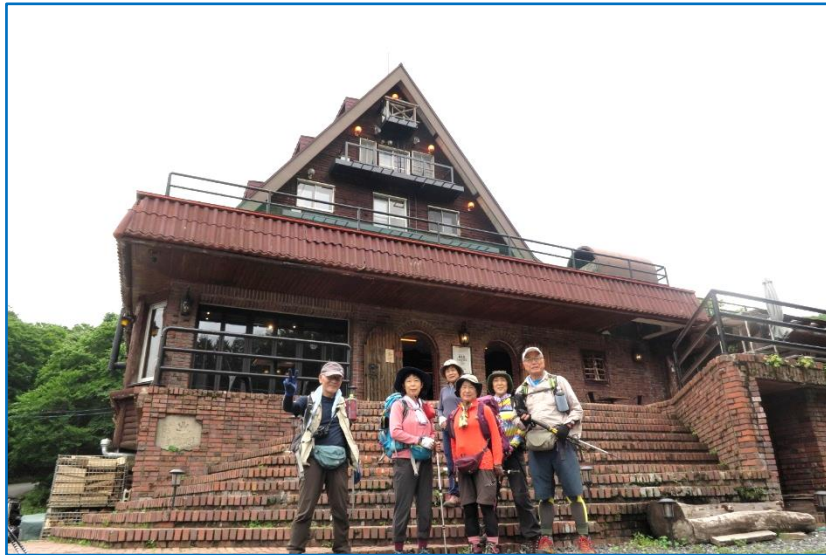


蔵王古道 二日目

(桐生 記)

7月18日(火)

快適な宿(SANGORO)の朝食はビュッフェスタイルです。ゆっくり食事をして、出発は9時。宿の前が登山口です。



30分程で五郎岳に、次は三郎岳に着いたが、三郎岳には標識も名札もなかったが間違いはないと思う。

天気は曇りですが、予報では3時ころから雨が降るらしい。『今日は地藏尊までとしてロープウェイで降りましょう』と決定！

地図をみても登山道と林道と入り乱れている。ヤママップと地図を確認して進む。ほとんどの道はスキー場内です。スキー好きの男性二人はゲレンデを滑る下調べのようにスキーの話題が尽きない。



今日の目的地、地藏尊はガスの中だった。12時前にロープウェイに乗ると雨がぱらついてきた。日帰り湯で汗を流して無事に山形行きのバスで帰路に。

霧降高原を振り返り

羽鳥健一郎

日光の駅からわずか小半時バスを下りれば高原の風
我が地図のスキー場の斜面にはニッコウキスゲ咲き乱れおり
霧降高原の階段はキスゲの中を千四百余段も
ニッコウキスゲの黄の群れの中にクルマユリの紅の咲く一輪
散策路右へ左へ巡り行くシモツケソウが早や咲き始む
一休みキスゲ愛でつつサクランボ頂く皆の顔がほころぶ
展望台からの眺め良し日光の町が霧降る下にあり
小丸山リュックを下ろし大休止ニギリ頬張り両足伸ばす
この先は赤薙山あかなぎやまに女峰山巖しき山の案内板が
あいことば「にっこう」と言いニッコウキスゲの絵葉書貰う
臨時バス二台も出でる賑わいはニッコウキスゲ発祥の地よ



於茂登岳 526m

桐生 千恵子

沖縄県の最高峰『於茂登岳』は遠い石垣島にあるのに、もの好きに3回も登っている。

20年位前に空港会社のキャンペーンで誕生日割引があり、石垣島が一番遠くで割安感があるなと思い、行ってみようと思った。寒い所が嫌いな東葛女子3名で行った。私の誕生日割引だから2月です。

初めての沖縄で、レンタカーを借りたのも初めてでした。登山口を探してウロウロ・ノロノロ運転でしたね。(カーナビはなかった)山は簡単に登れて、冬だから汗もかかずに快適ハイキングで、山頂からはエメラルドグリーン of 川平湾が見下ろせて夢の世界。

2回目は、2007年『創立30周年記念誌』の印刷が終わった時に「石垣島に行きましようか?」と何となく決定。やっぱり冬でした。港の直ぐ近くに宿を決めて離島を計画した。でも、『於茂登岳』は山好きには外せません。

西表島でもハイキング。船で登山口まで行き滝をめざして「ジャングル探検みたいだな～」と歩いた。

最果ての波照間島では、日本最南端をめざしてトコトコ歩きましたね。冬の平日は観光客も少なくて歩いているのは私達だけ。

3回目は2014年の2月だった。山友なのでやっぱり『於茂登岳』に一番に行きました。山頂の周りの笹藪が綺麗に刈られて見晴らしが一段と良くなっていた。次の日に石垣島で2番目に大きな山『野底岳 282m』を計画していたが、天気が悪くて登るのをあきらめたのが今でも残念ですね。でも、その夜は、私の誕生日だったので、オキナワ・ライブ居酒屋?で盛り上げてもらって『涙…』ステキな思い出です。



9月号は村上さん、10月号は八巻さんです。前月の20日を目安に加藤まで。

<ちょっと一言>

なんだ！この気忙しさは…？ 何とかしてくれえ～！

安彦秀夫

このタイトルを見て、何をイメージしますか？ 実は、『私の心の叫び(?)』です。何も考えずにのんびり居られる平穏状態は何処に行ったのでしょうか？ でも、これは、自ら望んで選択した結果なのですが…。

2015年3月末日に、会社を辞めて早や8年が過ぎました。『退職後は山三昧の日々を過ごせるのでは…』と楽しみにしていました。しかし、現実には、山に行く頻度は激減し、更に行く山は近場が多くなり、特に、コロナ禍では、殆どが単独の日帰りとなっています。



(今年2023年5月&6月の予定表/手帳)

『山以外にも取り組んでみようかな…。野田に30年以上住んでいても何も知らないな…』という思いで、ボランティア団体『むらさきの里 野田ガイドの会』に2021年3月に入会し、1年間の研修を無事終えて今日に至っています。

千葉県勤労者山岳連盟の役員を正式に引き受けたのが、同じく2021年3月です。それまでは『定期総会などの議案書(海外委員会)』や『県連創立50周年記念事業実行委員会(記念山行)』などには、積極的に関与をしてきましたが…。

昨年2022年9月より『ちばニュース』の編集を本格的に担当するようになり、本年2023年1月より『機関紙委員会』の委員にもなりました。

更に、千葉県連で『オンライン講座』や『ネパールトレッキング(海外委員会)』を実施することになり、引き受け手がなく私が担当することになりました。

ということで、ひと月の大半が『山関連(事務)』と『ガイド関連』の予定でびっしりです。加えて、地元の『ウォーキングサークル』や『パソコン講座(受講料無料)』、そして『病院通い』もあり、肝心の山歩きに出かける日が限定されています。スケジュールの合間に、天候の良い日を選んで、筑波山や宝篋山などを歩いてリフレッシュしている状況です。今秋(10/25~11/13)のネパールトレッキングのトレーニングに、もっと山歩きをしたいのですが、難しそうです。

誤算だったのが『ガイドの会』で、『月平均10日間』を取られるとは考えてもいませんでした。でも「やり遂げたい…」という思いです。体調を崩す前に精神不安定にならないように気を付けます。(2023/7/11/Tue.)

9月号の担当は安田さんと松本さんです。(8月20日までに柳 嗣穂宛て原稿をメールにて送付願います。)(ヤナギ ツギホ norinatsu1130@gmail.com)

編集後記

会報部の編集に関して私が思うところは梅田体制から桐生体制に代わり『やまびこ』も変えていかなければいつかは継続が難しくなる時が来るのではと危惧しています。現在の編集部員は高齢化が進んでいますが良くやっているなど感心しています。しかし今年になりメンバーも減少して補強したくてもパソコンのスキルが必要なこと等、色々問題もあり増員できていないのが現状です。現在ではスマホ主流の社会になりパソコンは日常生活ではまず不要とって良いと思います。そんな環境を考えるとこれからもメンバー増員は難しいのが現状です。新しい『やまびこ』をどう作るか考える時に来ていると思っています。 T.S

6月下旬、朝の貝柄山公園で友が「見たことがない花みたいなのがあるの・・・」土手側の木の下で咲いていたのを撮りました。即「ぎんりょうそう」と思いましたが、少し違うのでネットで調べて見ました。「タシロラン」では？と判定しているところですが、そうだとしたら「絶滅危惧種」に指定されている貴重な花なのです。比べてみても似ているでしょう・・・どなたか教えて。

のぶちゃん

ネット調べ



貝柄山公園



原稿作成要領

用紙設定 A4

余 白 上下左右 30mm

フォントサイズ MS明朝 12P

※原稿締め切り、毎月20日までにお願いします。

<担当>鈴木か、山岡

手書きも大歓迎です。会報部員に渡して下さい。

発行日 令和5年8月1日

発行者 東葛山の会

会長 安彦 秀夫

編集 会報部